

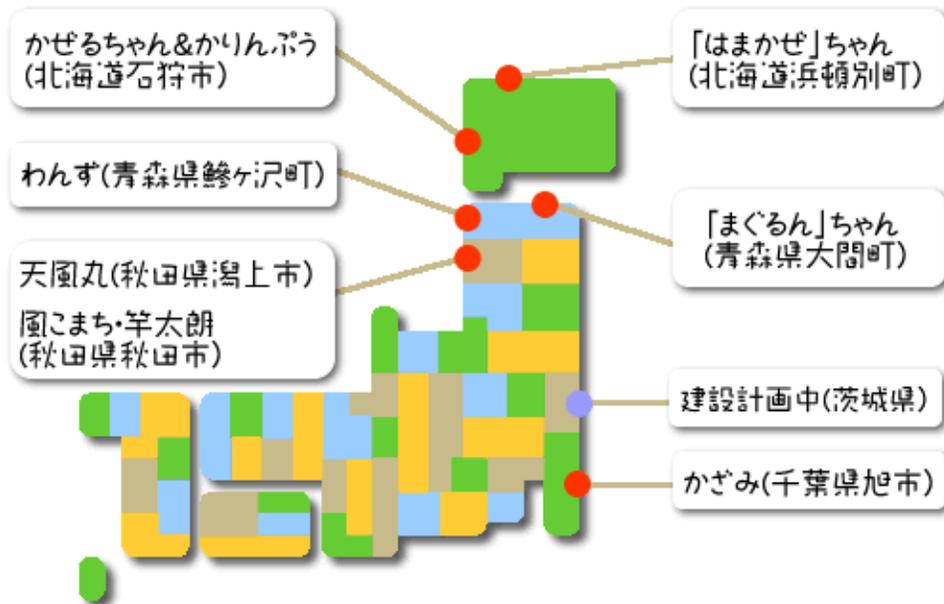
- ・「環境対策」・「社会的対策」としての投資・出資行動の認知。
- ・「資金運用には社会的な波及効果がある」ことの認識。

→ 金融責任の自覚

- ・市民による自然エネルギー発電事業
- ・ミニ公債
- ・NPOバンクなど

市民風車・太陽光発電実績	出資額	出資者数
「はまかぜ」 北海道浜頓別町	1億4,150万	217人
わんず 青森県鯉ヶ沢町	1億7,820万	776人
天風丸 秋田県潟上市	1億940万	443人
かぜるちゃん 北海道石狩市	4億7,000万	596人
かりんぼう 北海道石狩市		
「まぐるん」 ちゃん 青森県大間市	8億6,000万	1043人
竿太郎 秋田県秋田市		
風こまち 秋田県秋田市		
はさき(仮) 茨城県神栖市		
かざみ 千葉県旭市	1億4,150万	230人
おひさま発電 長野県飯田市		

全国市民風車マップ



環境配慮型ミニ公債：横浜市事業特定型住民参加市場公募債「ハマ債 風車」

- ・2007.2.7の発売から3日で発行総額2億8千万円完売。
- ・通常の市民債より低利(1.18%)。金利軽減分で緑化事業を行う。
- ・初日は購入者が開店前から店舗店先に。(初日は226名が購入。平均購入額は103万円)
- ・環境への貢献を目的にした購入者多数。

団体名(活動拠点)	設立年	貸し出し条件	活動状況
日本共助組合(東京)	1960年	平均金利3.40%、最長3年、上限300万円	全国に支部、カトリック教会系。世界クレジット・ユニオン協議会の日本メンバー
岩手消費者信用生活協同組合(岩手)	1969年	平均金利9.25%、最長10年、上限500万円、不動産担保融資もあり	多重債務者救済資金の提供が中心。岩手県内の自治体などが預託金拠出
未来バンク事業組合	1994年	金利3%、上限は出資額の10倍	太陽光発電などに融資、ap bankの審査運営を支援
女性・市民信用組合(WCC)設立準備会(神奈川)	1998年	金利1.8~5.0%、最長5年、上限1,000万円	神奈川県内の事業者、女性起業家、個人など対象。信用組合転換めざす
北海道NPOバンク	2002年	金利2%、1年以内のつなぎ融資が主、上限200万円	北海道内のNPOなどへ融資、北海道や札幌市も出資
apバンク(東京)	2003年	金利1%、最長10年、上限500万円	人気ミュージシャン3人が出資。環境・エネルギー関係、組合員ではなくプロジェクトごとに全国で融資
NPO夢バンク(長野)	2003年	金利2~3%、期間3年まで、上限300万円	長野県のNPO中心。県からも資金融資
東京コミュニティパワーバンク(東京)	2003年	金利1.0~2.5%、最長5年、原則上限300万円	東京のNPO小規模事業者など。「ともだち融資団」で信用補強
コミュニティ・ユースバンク・モモ(東海地方)	2005年	年2.5%(つなぎ融資の場合は2.0%)の固定	20~30代の若者が中心となって設立した市民による市民のためのNPOバンク。東海地方初。

出所)みずすサステナビリティ研究所「環境配慮促進のためのSRI検討会業務報告書」2007.3月

©Daiwa Institute of Research